

特 活

第164号

横浜市立小学校特別活動研究会
 発行 会 長 新美 美由子
 編集 広 報 委 員 会

第59回全国特別活動研究協議大会・第7回関東地区特別活動研究協議大会 神奈川大会を終えて



横浜市立小学校特別活動研究会長
 横浜市立奈良小学校長 新美 美由子

第59回全国特別活動研究協議大会および、第7回関東地区特別活動研究協議大会神奈川大会が「～今こそ希望を胸に～明るい未来を切り拓く特別活動 素敵な自分 きらめく自分 大好きな自分を発見する集団活動の創造」をテーマに8月6日・7日横浜を会場に開催されました。

1日目の聖光学院中学校高等学校で行われた全体会には、文部科学省初等中等教育局教科調査官の安部恭子様をはじめ、神奈川県教育委員会教育局支援部長の吉野雅裕様、神奈川県公立小学校長会長の有馬武裕様、神奈川県小学校教育研究会長の柳下睦子様、横浜市小学校教育研究会長の石橋孝重様、全国特別活動研究会の歴代の会長様等、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜りました。ご多用の中、講演会には、横浜市の岡田優子教育長もお越しくださいました。2日目のウイリング横浜での分科会には、綾瀬市の宇根真琴教育長も足を運んでくださいました。

全国の特別活動に熱い思いをもつ皆様のおかげで、有意義な大会となりました。本大会を開催するにあたり、ご指導とご支援をいただきました全ての皆様に心より感謝申し上げます。

さて、神奈川大会の一番の成果は、開催の準備から2日間の大会運営、分科会の提案までオール神奈川で、協力して取り組めたことだと思います。小学校・中学校・高等学校が、同じテーマで研究を進め、全国の皆様に提案する機会はこれまでありませんでした。青いポロシャツを着たスタッフがきびきび働き笑顔で対応する姿は、神奈川の特活人のチーム力を全国の皆様に示すことになったと自負しています。参加の皆様からも、「素晴らしい大会だった」と、お褒めの言葉をいただきました。

神奈川大会成功のために、会場さがしから様々な交渉ごと、名簿作成など大変なことを引き受け、緻密に準備を進めてくれた横浜の仲間がいたことも忘れてはいけません。皆、特別活動を愛する仲間たちです。神奈川の特活人のチーム力とともに、横浜の特活人の強い繋がりとお力も大会成功の大きな力であったことは間違いありません。

ご講演をいただきました古田敦也氏の著書「優柔決断のすすめ」の中に「どんな状況であろうと、それが自分の与えられた環境なら、否定するのではなく、まずは謙虚にすべてを肯定してみる。～今ある環境の中でベストを尽くす」とあります。また「失敗しても必ず次がある。それが明日なのか一週間後なのか、はたまた一年後なのかかわからないが、必ず取り返せるチャンスがある。だから、決断を恐れなくてほしい」ともありました。そして、「悩んでもいい、ブレてもいい、最後は腹をくくる」とも…。この度の全国大会開催にあたっては、「優柔決断のすすめ」の中で述べられている一つひとつの文章や言葉が、ことあるごとに私を勇気づけ、励ましてくれました。

今年の「熱闘甲子園」のキャスターは古田氏でした。優勝は45年ぶりに神奈川の東海大相模高校でした。全国特別活動研究協議大会・関東地区特別活動研究協議大会神奈川大会の準備に始まり、毎晩、古田氏の「熱闘甲子園」を見ながら、甲子園の球児たちに声援を送った、私のあつい夏が終わりました。

平成27年度・総会&講演会

平成27年度の「横浜市立小学校特別活動研究会」総会が、4月23日(水)に技能文化会館において開催されました。平成26年度の会務報告・会計報告、平成27年度の活動計画・予算案・役員選出等の審議がなされ、承認されました。今年度は研究テーマを「明るい未来を切り拓く子どもを育てる学級活動の在り方～集団活動を通して、子どもの自尊感情を高めるには～」と設定し、昨年度までの10年間にわたる研究に区切りをつけ、新たな視点で研究を進めていくこととなりました。詳細については、「会員研究計画」をご参照ください。

【講演会の概要】

演題：「子どもを育てる特別活動」

講師：玉川大学 TAP センター 助教 川本 和孝 先生



参会者同士のゲームで和やかな雰囲気が始まり、そのゲームを振り返ることから、講演のメインテーマである「特別活動における振り返り」についての話へと展開していきました。

特別活動の振り返りには、「見えること」のみならず「(感情や雰囲気など)見えないこと」が重要であり、教師はそれらを子ども同士がシェアし自身の次の目標や願望を見いだすことができるようにしていくこと、子どもが次の具体的な行動や目標設定が実践できるようにしていくことが大切であることを、映像を混じえながらお話いただきました。子どもたちが他者とのかわりの中で自分のよさを見出せるような機会を今年度も多くつくっていききたい、という気持ちを強くした有意義な時間となりました。

課題別研修会

7月1日に日枝小学校で課題別研修会が行われました。話し合い活動、係活動、集会活動の三つに分かれて推進委員より、具体的な活動事例を示しながら、指導のポイントを提案しました。活動を通して子どもの自尊感情を高めるための視点について考え、今年度の研究の方向性を共有しました。

集会活動で大切にしたい指導のポイント

【提案の概要】

<集会活動の実践例と指導のポイント>

- 計画 集会のめあてを大切に
- 準備 一人ひとりに役割を
- 実践 実践の喜びを十分に実感できるように
- 振り返り 次の活動の意欲となるように



<集会活動を通して、子どもの自尊感情を高めるためには>

- ・年間を見通し、子どもの発達段階や実態に合わせてねらいをもって意図的に集会活動を設定する
- ・子どものかかわり合いを広げたり深めたりする場や時間を意図的に設定する
- ・自分の役割を十分にやり遂げることができる場や時間を設定する
- ・友達と一緒に活動する場や時間を大切に、互いの活動を見合う活動を設定する

【協議の概要】

- 教師のねらいを明確にすることで、子どもも振り返りを生かした具体的なめあてを立てることができる。
- 自尊感情を高めるために、子ども同士がかかわり合う場や時間を活動過程のどの場面で設定するとよいのか。
- 視点をもった振り返りを行うことで、活動につながりがうまれる。例えば今回の提案（友達のがんばりを見つける活動）では、今までとは別の見方で友達を見ることができるよう友達を何を見るのかなど、視点を明確にすることで、子ども同士のかかわりを深めることができた。
- 集会のきっかけの場面、集会の種類・プログラムの決定場面など、活動場面ごとに共通理解を図ることで、子どもと一緒に活動をつくっていくことができる。

係活動で大切にしたい指導のポイント

【提案の概要】

<係活動における指導のポイント>

- 活動計画 自信をもって活動することができるようにするために、係ごとに活動計画表をつくり、誰が、いつ、何をしたらいいのかを明確にする。
- 実践 創意工夫のある活動にするために、係からのお知らせコーナーや係ポストを活用して、係と学級をつなぐ。教師の助言で、活動例を紹介したり、活動の価値づけをしたりする。
- 振り返り 係のがんばりに気付くことができるようにするために、係内の友達に向けて、メッセージカードを渡し合う。他の係に向けて、メッセージカードを渡し合う。



<係活動を通して、子どもの自尊感情を高めるためには>

係活動の特質を生かしながら、活動過程の場面ごとに教師が適切な支援をすることで、子どもたちの自己有用感や達成感、所属感等が高められ、それが一人ひとりの自尊感情の高まりにつながると考えられる。

【協議の概要】

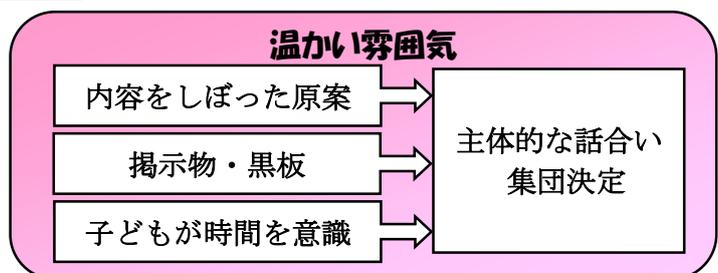
- 係活動の時間を確保するのが難しいときには、係で給食を食べたり、活動計画表を生かして役割分担をして活動を進めたりするとよい。
- 係の創意工夫が広まらないときには、教師がアイデアをあげたり、他のクラスの様子を見に行ったりするのもよい。どこか一つでもそういった活動ができると、他の係にも工夫した活動をしたいという意欲が広まっていく。
- 子どもが見通しをもち、自分の役割を明確にすることで、活動への責任感や連帯感を感じるようになり、自尊感情を高めることにつながるが分かった。
- 係の活動はやらせっぱなしにしないで、振り返りや認め合いの時間を確保することが、自尊感情を高めることにつながる。

話し合い活動で大切にしたい指導のポイント

【提案の概略】

<話し合い活動の実践例と指導のポイント>

- 議題の選定の視点を明確に
- 話し合いへの意欲を高める工夫を
- 時間配分を意識して話し合いをまとめる
- 活動のまとめと振り返りを丁寧に



<話し合い活動を通して、子どもの自尊感情を高めるためには>

- ・めあてをもち話し合いに参加すること
- ・自分の意見が話し合いや活動の中で生かされる経験を重ねること
- ・話し合いの結果を生かし、話し合いが楽しいと思えること



【協議の概要】

- 話し合う内容をしぼった原案をつくるのが、主体的な話し合いにもよりよい集団決定にもつながっていく。
- 温かい雰囲気でも話し合うことができることも大切。そのために、反対意見の伝え方などにも支援が必要。
- 掲示物や黒板を使い、時間を意識できるようにすることが、話し合いをまとめていこうという思考につながっていく。
- 話し合い活動の経験を積み重ねていくことで、話し合いも深まり、話し合いを楽しむことができるようになる。1年間かけて、よりよい話し合い活動ができる学級を育てていくことが大切である。

調査統計研修・基調提案



今年度の実践提案・授業提案に先立ち、6月10日、日枝小学校において調査統計研修と本年度の研究について基調提案が行われました。

前半の研修会では調査統計委員より、学校全体で特別活動を生かす取組を紹介しました。毎年の現況調査報告から浮かび上がる現場での悩みに応えるべく、実践例がふんだんに盛り

込まれた研修となりました。後半は研修部より研究について基調提案を行いました。自尊感情を高めるための手立てについて意見を交わし、新たな研究テーマに迫るための一歩となりました。

